

あきる野市教育委員会 10月定例会会議録

- 1 開催日 平成27年10月22日(木)
- 2 開催時刻 午後2時00分
- 3 終了時刻 午後2時34分
- 4 場所 あきる野市役所 5階 505会議室
- 5 日程
 - 日程第1 委員長の選挙について
 - 日程第2 委員長職務代理者の指定について
 - 日程第3 教育委員報告
- 6 出席委員

委員長	山城清邦	
委員長職務代理者	田野倉美保	
委員	丹治充	
委員	宮田正彦	
教育長	宮林徹	
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者

教育部長	森田勝	
指導担当部長	肝付俊朗	
生涯学習担当部長	関谷学	
教育総務課長	小林賢司	
教育施設担当課長	清水保治	
学校給食課長	木下義彦	
指導担当課長	西山豪一	
生涯学習スポーツ課長	鈴木将裕	
スポーツ・公民館担当課長	吉岡賢	
図書館長	松島満	
指導主事	梶井ひとみ	
指導主事	櫻井欣也	

9 事務局欠席者 なし

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

委員長（山城清邦君）

こんにちは、よろしくお願いいたします。それでは、定刻になりましたので、ただいまから 10 月のあきる野市定例教育委員会を開催いたします。

本日は、教育委員全員が出席しております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

本日は、傍聴の希望はないようですが、議事日程に従って会議を進めてまいりたいと思います。

事務局は全員が出席しております。

会議録の署名委員の指名につきましては、田野倉委員と宮田委員にお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

日程第 1 委員長の選挙についてですが、傍聴人はいらっしゃらないようですが、これは非公開で会議を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、非公開で会議を進めますので、扉のほうはよろしくお願いいたします。

＝非公開＝

委員長（山城清邦君）

よろしいでしょうか。それでは、異議なしということですので、皆さんの期待に沿えるかどうか心配ですし、また新しい制度も動き始めているところではありますけれども、教育長の残り任期をご一緒に力を合わせて務めさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、続きまして日程第 2 委員長職務代理者の指定についてお諮りします。

本件も人事案件ですので、引き続き非公開で会議を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、非公開で会議を進めます。

＝非公開＝

委員長（山城清邦君）

よろしいですか。異議なしと認めます。

それでは、委員長職務代理者の指定につきましては、田野倉美保委員、よろしくお願いいたします。

それでは、一言ご挨拶を。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

では、今指名を受けました田野倉です。1カ月弱ということなのですが、今までどおり山城委員長を支え、できる限り力を尽くしてまいりたいと思いますので、皆様のご協力もどうぞよろしくお願いいたします。

委員長（山城清邦君）

よろしくお願いします。

それでは、次に入りますが、ここで非公開を解きますので、もし傍聴人がおられるようでしたら入れてください。

それでは、続きまして教育委員報告に移ります。

教育長。

教育長（宮林 徹君）

それでは、この1カ月のちょっと報告をさせていただきます。今月は9月25日から今日までの間、学校訪問が5校ほどございましたか。学校訪問5校、それぞれの学校が準備をされて私たちを迎えてくれて、学校の様子を見たり聞いたり、いろいろな話をしてきました。どこの学校も一生懸命頑張ってくれているということがわかりましたし、それから学校によって、この学校らしいとか、5校もあれば5校とも違うイメージの学校があって、まさに特色ある学校づくりをしているのだというふうに思いました。

しかし、それぞれの学校でこれだと思うようなこともあったりしましたので、委員の先生方といろいろお話をしてきましたけれども、校長先生がそれを受けてどういうふうに今後学校経営していくか、それはそれでまた見届けなければいけないというふうに思っています。いずれにしても、私たちが学校訪問することは学校のためになるし、私たちのためにもなることは間違いありませんので、この事業はしっかりと続けていったらいいのではないかというふうに思います。それが一つです。

それから、二つ目は臼井市長が満期で退任されました。10月14日でした。それで、その翌日は新しい市長を迎えて、あきる野市の一つの時代が終わって、新しい時代がスタートしたわけですが、これはよくよく考えると大変なことで、まだ新しく市長が就任されてから間もないわけですが、それぞれの部署でよほど心してやっていかないと、新しい時代のスタートにふさわしくないのではないかというふうな思いがしています。いずれにしても、臼井市長には大変お世話になったし、新しい市長にはこれからもお世話になるわけですが、感謝をすると同時に、これからの期待をしたいというふうに思います。

それから、10月8日ですが、これは、やはりお話ししておきたいと思います。10月8日に民生委員とか児童相談所の先生とか、子ども家庭支援センター、これを四者協議会というのですが、学校、行政、民生委員、それと児童相談所、この人たちが集まって年に1回か2回いろいろな協議をするのですが、ふれあいセンターでいろいろな事例の発表がありました。学校関係から2つの事例、それから民生委員さんが扱っている事例の発表を2つ、前半、後半、1部、2部で分かれて4つの事例を発表したのです。前半の小学校と中学校の事例の発表の中で、小学校の校長先生が自分の学校では子供の健全育成というか、子供のいじめの問題や生活指導やいろいろなことについて、こんなふうに、こうい

う指導をしているという事例を、20分間ぐらい話しました。その学校の様子ですけれども、そうなのだろうと思うような発表をしてくれました。中学校のほうは、中学校の先生がその自分の学校の様子の話をしてくれたのですが、どうもその話の中身が自分の学校の話ではなくて、全国あるいは東京都全体の今話題になっているようなものを、専門的な読み物というか、そういうものの中から講演形式で話をしてくれました。それはそれで勉強しているなというふうに思いながら私も聞いていたのですが、1つ本当に気になって、これはだめだと思ってしまったことがありました。

話し方は、いろいろな流れの中で画面に映しながら話をしてくれて、とても上手なのです。皆さんは、「これはいじめではないか」とか、いじめを発見するというか、いじめかと思う、それはどんなことで気づきますかという質問なのです。どう思いますか、誰が、どんなことで気づくかということですね、学校の中で行われているいじめ。それは、私は私なりに、これに決まっているのだろうというふうに思って、黙って聞いていたのですが、でも、「どなたかにじゃ指名します。」なんて、会場の人たちに「誰々さん。」なんて指名したのです。自分の学校の先生を、指名したのですよ。その指名された先生は特別支援学級の先生なのです。だから、当然答えるのもいい答えを、いいというか私が思っているような答えをするかと思ったら、いじめを発見するのにどういう方法で自分はやっているか、一番いい方法というか、「何だと思えますか」という質問ですから、そうしたらアンケートですと答えました。「アンケートです。」って言った。そうしたら、「正解」と言って、バンと画面にアンケート1位なのです。それはどこかのデータだと思うのだけれども、2位は担任の先生。「アンケート」が52%なんて、2位は「担任」15%、「本人が言うてくる」12%、その順でいじめというのは見つかるっていう話を、その先生がし始めたのです。その瞬間に私はカッとなってしまい、「アンケートでいじめが発見されるのか。」と思いました。それから後はもう何となく聞いているのだけれども、冗談じゃないと思って聞いていたのですけれども、全部終わりました。

そして、今までのところで、「1部、2部で学校の話が終わったのです。そうしたら、ここで1部が終わりですから、今までのところで何かご質問ありますか、どなたか会場で」と言うことで、民生委員や何かやっている人たちから、それなりの勉強している人たちがいっぱいいるのですけれども、後ろの方から「はい」と手を挙げた男の人が、「先ほどいじめを発見するのはアンケートだというふうにお答えになったのですけれども、私は大変、違和感を感じて、びっくりしました。そうではないじゃないですか、こういういじめは担任の先生が見つけてくれなくては不安でしょうがない。担任の先生が見つけるのではないのですか。それはアンケートしなくては見つからないのですか、あきる野は」というぐらいの言い方で質問をされたのです。私も質問しようと思いました。それを。本当にそうなのかと。「先生、本当にそうなのあきる野はそんなこと言っていないよ。」という話をしようと思ったのですが、私が大きい声で話してしまうと、その会がぐちゃぐちゃになってしまうから、じっとこらえていたのですけれども、そんなことがありました。それはそれなりに答えたけれども、答えとしては納得できる答えではない、質問した人は終わりにしたのですが。

それで、後半が始まったときに、私は、午後は帰ってきたのです、後半は。今度は民生

委員の人たちが事例研究を2つして、全部終わって、そしていよいよ最後になるときに、今度は違う人が閉会の言葉を言ったらしいのですよ。これは後から人から聞いた話ですが、閉会の言葉としては、「今日はこれで終わりにします。それにつけても、先ほどのいじめを見つけるのがアンケートだというのは、ちょっとやはりいかがなものかと思いました。以上で今日の会合を終わります。」と、こういう挨拶をしたのだそうです。ということは、あきる野はそんなことなのかというふうに誤解をされたと私は思うのです、完全に。それをそこにいた指導主事に、帰ってきてからも私は肝付部長ともこんなことがあったのだけど、これはだめだということで話をしました。それを発表したのは管理職の先生で、一般の先生ではないから、だから肝付部長を直ちに呼んで、そうではないでしょうという話を、そんなこと言っていないだろうと、そしてしっかりと指導しておくようにということで、翌日か何か呼んで指導してくれました。私が指導したいぐらいでしたが、それはお任せしましたが、そんなことがありました。

そのとき、私はつくづく思ったのですが、あきる野は特別支援教育をやっている、一人一人を丁寧に見ていくのだ、担任の先生が学級経営の中で本当にそういうことが起こらないような風土づくりをしっかりとしなさいというのは、もう12年言っているわけです、12年間、今日まで。でも、やっぱりアンケートなのですよ。それでがっかりしてしまって、とてもこれでは心配でしょうがないというふうに思うのです。それが管理職では、余計困ってしまうのですよというふうにつくづく思いました。だから、何回でも同じこと言って、私はいつも見詰める目と感性が教員は必要なのだと、このフレーズも随分使っています。しっかりと見詰めて、それは何なのだろうと感じる感性が必要なのです、先生は。そういう先生を育てたくて特別支援教育をやっているのだからということを随分言いました、いろいろなところで。でも、アンケートになってしまうのだよというようなことがありました。私は、民生委員の会議ですが、結構私にとっては今月インパクトがありました。というのは、私の施策が浸透していないからですよ。それで、私はある意味ショックを受けてしまいました。冗談じゃないというふうに思っているのです、今でも。だから、よほど鍛え直さないといけないと、このように思っています。

以上です。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

新市長が10月15日に登庁されて、新しい制度改革も教育委員会に関してはありましたけれども、こういった教育行政について何かご発言はあったのですか、市長の。これからですか。

教育長（宮林 徹君）

ありませんでした。

委員長（山城清邦君）

これから人事が決まってからということでしょうか。

教育長（宮林 徹君）

それはわかりません。

委員長（山城清邦君）

ある意味、新しい教育委員会制度の中での新しい市長ですから、私どもとしては期待をしたいところがありますので、ちょっとお聞きしてみました。

教育長（宮林 徹君）

そうですね。そうだと思います。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございます。いずれ出てくると思いますので、そのときはまたきちんと承りたいと思います。

それでは、ほかの委員さん、この１カ月で何かご活動の中で、これはぜひお話をしておきたいというのがありましたら、順番にどうぞ。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

多分ほかの委員さんが出席されていらっしゃらなかったという点で、９月２６日の土曜日に、あきる野市障害者防災・スポーツフェア２０１５というのに短時間ですけれども、出席させていただきました。初めての試みということで、どんな形のイベントなのかと楽しみに伺いました。とても大がかりなイベントで秋川体育館の大体育室、小体育室、武道場ですとか、あと外の秋留台公園の手前の敷地のところも全部使って、はしご車ですとか消防車ですとか、いろいろなものが体験できるようになっていました。対象者が小さなお子さんと障害者、またその家族というような形だったのですが、本当に小さなお子さんにとってははしご車の上に上らせてもらったり、消防服を着て消防車に乗せてもらったり、かなり楽しい体験ができたと思います。体育館のほうでは、障害者の防災訓練みたいな形でバケツリレーをやったりしていたので、なかなかいい企画だったと思います。

その一方で、スポーツフェアもありまして、シッティングバレー、座ってやるバレーボールですとか、あとはボッチャというパラリンピックの種目になっているものをデモンストレーションしたり、参加者が挑戦したりするようにできるコーナーもあって、すごくいい企画だったのではないかと思います。シッティングバレーは日本代表の方がいらしていて、一般の方も一緒に参加できるようになっていました。私たちもオリンピックはもちろん興味をもって見るのですが、パラリンピックにはどんな種目があるのかと、なかなかこう実際自分の目で見る機会がなかったので、非常にありがたく思いました。関係者の方、どうもお疲れさまでした。

もう一つ、１０月１０日のあきる野市の市Ｐ連の教育フォーラムのほうにも出席させていただきました。毎年ＰＴＡ連合会のほうで、今年はどんなテーマにしようかということで、考えていただいているのですが、今年は本当に今どきの課題というか、スマートフォンとかインターネットの使い方について、グリー（glee）の方がすごくわかりやすく、丁寧に説明してくださいました。多分学校でもセーフティー教室ということで、子供たちには年に１回とか２回とか指導はしていただいていると思うのですが、なかなか保護者の方が聞く機会がないと思うのです。また、せっかくそういうものをやったとしても、余り保護者の方は参加されていないというようなこともお聞きしています。単に写真に撮ったものをSNSに載せるだけで知らず知らずのうちに自分の居場所を教えてしまっているとか、私ももちろん知らなかったことたくさんありました。またこういった機会があれば、保護者の方にも発信をしていただければと思いました。

以上です。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私が印象に残ったのは、特別支援学級の連合運動会で、開会式のほうへ出させていただきました。当日、昭島市の教育長と事務局、それから日の出町の小林教育長、それと当番の校長さんでした。そこで、あきる野市の特別支援教育のいわゆる取り組みについて、昭島の教育長とお話をする機会がありました。本市の各校が大変丁寧に子供たちを見取っていること、当日の子供たちの動きがとてもよかったことなどから、やはりあきる野市さん違いますねとお褒めの言葉をいただきました。この場では日頃の教育の一端だけしか見られませんでしたけれども、恐らく学校の中では相当きめの細かい指導をされているのでしょうというような、そんなお話をいただきまして、気持ちのいい思いをさせていただいて私は引き揚げてきました。

以上です。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

宮田委員、どうぞ。

委員（宮田正彦君）

私は、学校訪問をさせていただいて、やはりいろいろな学校というか、大分違うなという感じることができて、大変よかったと思っています。これは教育委員としてではないのですが、PTAのOB会とかちょっと集まって内輪で話していたら、五日市小は評議員として、やめたPTA会長が1人加わっているのですけれども、話を聞いていると、評議員は私たちがやっているような学校訪問はどうもやっていないような話で、ぜひやってくれるといいのにと話をしていました。それはいいよという話であったのですが、是非そういうことをしていただくといいかなと思います。

それから、セーフティー教室を南秋留小と五日市小とを見に行ったのですが、それぞれ参加者というのですか、生徒以外の参加者が南秋留小は見守り隊のおじいちゃん方が6人ぐらい、自治会の方が1人、保護者のお母さんが1人来られていました。お母さんとすれば、やはり見守り隊が来てくれて、地元にいると本当に安心ですよというお話をちょっとさせていただいたのですけれども、確かにそのとおりだと思います。それから、五日市小のほうは、高学年は薬物とかお酒とか喫煙のお話がされていました。保護者が5名で、自治会等そういう地域の集まりの方は来られなかったので、その辺が小学校からはどうお話しされているか、わからないのですが、やはり五日市小はもう少し地域の地域力を使って見守り隊とか、多分あるのだと思うのですけれども、表に出てきてほしいなというところがちょっと希望として、親としてもありました。

以上です。

委員長（山城清邦君）

私のほうから、それでは。印象に残ったのは幾つかありまして、私は初めて丹治先生の

菅生中学校、菅生祭ですか、行かせていただきました。午後だったのですけれども、学校の中をくまなくご案内していただいたりしまして、ありがとうございました。やはり一貫校というのはいいなと思ったのは、中学生がその地元の、いろいろな植物のことだとか動物のことだとか、それから絵だとか、要するに文化的活動についてきちんと一部屋を研究発表の場として設けていまして、私どもが行きますと一生懸命説明してくれるのです。これはすごくらやましいと思いました。要するに高校受験があるとなかなか難しいのかということです。それが基本的に高校受験はないのですか、内部で進学する場合には。そうすると、中学校の3年間でというものを、そういう自分の関心を持つところに十分、もちろん先生の指導もあるでしょうけども、自分が関心を持つことについて調べたりまとめたりする研究をやって、しかもそれを自分の言葉で発表する機会があるというのは、これはやはりうらやましいなと。

できればそういうことを、やはり中学生の間に活動できればと、いろいろ思うのですが、中学校のころの子供の脳というのはとても柔らかでどんどん吸収する世代ですから、そういう中学校のときにやった研究の中身、発表の内容だとか、そういうところは多分一生の宝になっていくと思うのです。あるいは、その子の基礎になるのではないかと思います。とてもうらやましく思って帰ってきました。何か公立中学校でもそういう、文化系の、子供たちが学校を訪問する人に対して、自分たちがこういうことを研究しています、こういうことをまとめたのですという発表の場というのをつくれたらいいなというようなことをつくづく思って帰ってきました。

それから、多西小の学校公開が、同じ日だったのですけれども行きまして、そうしたら菅生歌舞伎、瀬戸岡の獅子舞、それから小宮神社の棒使い、この3つが出ていました。体育館に行きますと、菅生歌舞伎の人たちが大勢来て子供たちにドーラン塗らせて、「白浪五人男」を何組かつくって、それぞれ口上も教えて、体育館の舞台上で次々とやったのです。その準備も見ていたのですが、準備も大変だと思いますし、獅子舞のほうも大変だと思うのですけれども、やはりこういった地域の方があれだけ協力してくれるというのは、すごい宝ではないかというふうに思いました。要するに地域との関係が大事だ、大事だと言いますが、やっぱり基本的にはされている方々が土曜日の時間を割いて、子供たちのためにやろうという、その人たちのグループの力といいますか、団結力といいたほうがいいと思います。ですから、それをやっていない小学校について、これからやろうとする場合には、本当に相当な労力を、まず校長先生がそういうのをやろうという気を起こすことも大事です。それからそれに協力しようという、なかなか面倒くさいから嫌だという例えば地元のお祭りのグループだってあると思うので、それを何とか気持ちをまとめて、ここに結びつけていくということは、大変な労力ですが、本当にいいことだと思いました。多西小の校庭に入ると、もうあちこちからおはやしの音だとか笛の音、篠笛が聞こえたりしまして、私のようなあそこで生まれて育った者にとっては本当にうれしい展開でした。

それから、10月9日に宮田委員と田倉係長に同行していただきまして、市町村連合会の管外研修で群馬県に行っていました。見学したのは、日本三大古碑の一つ、多胡碑と、それから養蚕関係の高山社と富岡製糸場3カ所だったのですが、それぞれとても勉強

になりました。特に多胡碑は8世紀の初めのころの碑ですし、高山、富岡製糸場は19世紀ですから、その間約、1, 100年ぐらいの時間のスパンでもって、群馬県のみならず関東平野、それから日本の明治の産業の中心となった大事なところを見学することができまして、本当に勉強になりました。

私からは以上でございますけども、先ほどの特別支援学級の連合運動会、私は閉会式を立ち会ってきまして、子供たちがそれぞれ出てきて、自分たちの文章でもって発表の言葉を述べて、大変立派なまとめをして、いい運動会だったと思いました。会長さんの松木先生の隣で、ご一緒で見させていただきまして、ありがとうございました。

以上でございます。

それでは、各課報告。

教育総務課長（小林賢司君）

今後の予定を。

委員長（山城清邦君）

今後の予定ですね。

教育総務課長（小林賢司君）

それでは、今後の日程等につきましてご案内をさせていただきます。

10月24日土曜日でございますが、一の谷小学校の創立40周年記念式典が開催されます。午前10時開式となりますので、よろしくお願いいたします。

10月27日火曜日でございますが、五日市中学校の学校訪問となります。市役所を午前9時に出発しますので、よろしくお願いいたします。

10月31日土曜日は、マールボロウ市友好訪問団の歓迎式典が午前10時30分からあきる野ルピアで開催をいたしますので、よろしくお願いいたします。

11月4日水曜日は、南秋留小学校の学校訪問となります。市役所を午前9時に出発しますので、よろしくお願いいたします。

11月10日火曜日でございますが、マールボロウ市友好訪問団のお別れ式が午前9時から市役所1階コミュニティホールで開催をいたします。

11月12日木曜日でございますが、東京都市町村教育委員会連合会第1ブロックの研修会が奥多摩町で開催されます。田野倉委員長職務代理者、丹治委員に出席をいただく予定でございます。午前9時に市役所を出発しますので、よろしくお願いいたします。

11月16日月曜日は、秋多中学校の学校訪問となります。市役所を午前9時に出発しますので、よろしくお願いいたします。

最後に、次回11月の定例会でございますが、11月25日水曜日午後2時から505会議室で開催をいたします。

以上でございます。

委員長（山城清邦君）

それでは、以上をもちまして、あきる野市教育委員会10月定例会を終了いたします。どうもありがとうございました。

閉会宣言 午後2時34分